

2026.2.21 (土) 16:00

西日本図書館学会福岡県支部定例会

大学図書館員の卒論指導はいかにして可能か？

－2025年久留米大学図書館研究会から考える－

担当：遠山 潤

1年前の2025年2月22日に「大学図書館員の卒論指導は可能か？」と題し、「教育活動への直接の関与」（「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－平成22年12月）の実践例として久留米大学文学部情報社会学科の科目「卒業論文制作実習演習」（4年）を紹介し、このテーマを考えた。

今回は、2025年に10回開かれた久留米大学図書館研究会の内容を紹介し、「大学図書館員の卒論指導は可能か？」という問題提起から「大学図書館員の卒論指導はいかにして可能か？」へ問いを一步進める。

紹介する2025年久留米大学図書館研究会の内容は以下の3点である。

- 1) 論文の書き方についての教材を読む
- 2) 令和6年度情報社会学科卒業論文を点検する
- 3) 公共図書館司書の事例発表を支援する